

東与賀

higashiyoka

文責 田中泰司

佐賀市立東与賀中学校

後半戦始まる 大きく前進を！

一年の半分を終え、後期課程が始まりました。修学旅行や研修旅行を経て、生徒たちの良い面や成長を改めて実感している所です。また部活動の新人戦が行われ、それぞれの部活動で素晴らしい結果を納めています。特にソフトテニス部は優勝という快挙を成し遂げました。新しい東与賀の歴史を刻み、今後の自信につなげてほしいと願っています。

小さい時から人から強制されるのが大嫌いだっただけは、中学校に入学したら坊主頭になければならないという当時の校則に反発して、唯一髪を切らなくてよかった附属中を受験しました。くじであえなく不合格になり、中学校時代は坊主頭で過ごさざるを得なかったです。

やっと髪を伸ばせた高校生の時には、陸上部に入りましたが、駅伝メンバーは坊主頭にするという謎ルールで、泣く泣く切りました。

大学生になりやっと髪型が自由になったかと思ったのもつかの間、体育会総務という役員になり三年になるまでスポーツ刈りか坊主というルールにぶつかり反発し続けながらも決まりには従いました。

会社員を経て、無職時代、髪を伸ばして後で束ねられるくらいに長くなり、教員採用試験にはそのままで行きました。教師は人間性が大事！外見なんて関係ない！と思っていました。二次試験の面接

「髪」についての「一考察

では明らかに不機嫌な面接官。髪型が原因かは分かりませんが、少なくとも採用になりました。

それからもう一年の浪人。貯金はどう減り妻と子供をどう養おうと頭を悩ませ、そこまで突っ張る必要があったのかと髪を切らなかつたことを後悔しました。

個性は外見ではなく違うところを発揮できたのではないかとも思いました。やって後悔するくらいだから、自分にとって「髪を切らないこと」が本当に大事なことでなかったのです。

採用試験は選ぶ権利は相手にあり、そのために身だしなみを整え最善と思われることを準備する。その場にふさわしくないと判断され、印象が悪くなってもそれは自己責任以外の何物でもないのです。外見で人を判断するな、といいますが、まずは外見しか判断する材料はないのです。そして人間は誰でもまずは外見で印象を判断しているのです。まして入学試験や採用試験で身だしなみを整えていないのは、それから先ももっとひどくなるだろうと敬遠されても仕方ありません。それでも好きな髪型を貫く！という人には私のように一年間棒に振る覚悟があれば、ですがおススメはしませんよ。

前期終了式の校長講話

四月から六か月がたちました。皆さんにとってどんな半年間でしたか？小学校の半分の三年間で、倍の速さで成長しなければならぬ中学校です。成長のスピードや幅はそれぞれですが、与えられた時間はみな平等です。その時間をどう使うかが最も大事なことです。

皆さんの良い所は、保護者や地域の皆さんから愛情を注がれて素直に成長しているところで、日頃の会話やかかわりの中で、ほっこりしたり癒されたりする場面が多くあり、皆さんが大事に育てられてきたことを深く感じます。

また基本的に優しくて友達思いであることもすごく良い所です。人間として最も大事な点を備えていると思います。東与賀という故郷や家族に感謝の気持ちを忘れないで下さい。

逆に大人への信頼感や安心感が、節度のない態度となつて出ることが非常にもったいなく感じています。それは「大人になろう」としてはいない」というようにも捉えられます。

前回の学校通信で「大人の条件」について書きましたが、私が思う「大人の条件は、三つあります。【前回の通信参照】

この半年間の自分の行動や発言を思い返してください。果たして「大人」にちかづくための時間だったでしょうか？それとも時が止まってなかなか成長できない時期だったでしょうか？「大人」としての周囲への配慮があれば、校舎内で大きな声を

出したり騒いだりしないはず。また挨拶をされたならきちんとそれに応えなければなりません。ルールや決まりがあればその意味を考えて守らなければなりません。

三年生は卒業まで残り五カ月を切りました。二年生も残りの時間のほうが少なくなりました。一年生もすぐに後輩たちが入学してきます。あなたたちの良い点が、自分への「甘さ」や他人への「甘え」につながるならばそれはとても残念です。

皆さんは中学校を卒業すれば、社会的には強制的に「大人」として扱われます。周囲の人たちは今までのようには関わらなくなりますが、皆さんが何か間違つたことをしても誰も注意しなくなるでしょう。

自分の行動や発言の責任はすべて自分自身が負うのです。自分勝手な人間や、わがままな人間からは人が離れ、周りには誰もいなくなり、最後には一人ぼっちになります。なぜでしょうか？誰だって、関わっていやな思いをしたくないからです。

皆さんには誰一人そんな人間にはなつてほしくありません。早く「大人」への道を歩んでください。自分の行動を振り返って、本当にそれでよいのか、場に適切なのかを気づけるようになってほしい。

あなたたちの良い面、素晴らしい面がさらに伸び、周囲から好かれる、素敵な思いやりのある大人になつてほしいと願っています。あなたたちならば必ずそうなれると確信しています。これから、残された時間を一緒に頑張っていきましょう。